

せとうち

瀬戸内学園広報紙
 発行 社会福祉法人 瀬戸内福祉事業会
 瀬戸内学園
 発行責任者 宮本 勇
 〒712-8015 倉敷市連島町矢柄 6092
 ☎086-448-1811



私達、台湾旅行に行ってきました!!

通所部新体系移行のご案内

理事 道廣 司

平素より皆様方には瀬戸内学園の運営に際しまして多大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、瀬戸内学園で新体系への移行をせざるにいた、通所授産・通所更生の2施設も本年3月1日より多機能型事業所「つばせとうち」(生活介護25名・就労継続支援B型15名)としてスタートします。日課については大きな変更はありませんが、職員「同利用者の皆様」「やりがい」のある楽しい事業所となるべく、取り組んで行こうと思っております。あわせて、相談支援事業所「クローバーせとうち」も開所します。

これによって全ての事業の移行が完了いたしました。長い期間をかけての動きでしたが、ようやく一段落となりました。しかし、すぐに新しい法律への対応が求められ、学園全体としては、ばたばたとした状態がまだ続きそうです。

利用者の皆さんを取り巻く状況がどんなに変化しよう、今、当事業所を利用されている方の足元にある大

きな課題は「老いの進行」ではないでしょうか。(施設入所支援では平均年齢が50歳を超えています)

当法人としては、「親戚の後が心配」「終の棲家を！」の声にこたえ、今から15年前に、特別養護老人ホームを開設いたしました。もちろん知的障がい者に特化したものでなく、一般の特養となりましたが、この間10数名の利用者が移られています。しかし、社会全体の高齢化で特養への待機者が非常に多く、そのため本年新たな特養を開設する予定です。一方で、今は特養に入る程ではない・入りたくない元気な高齢利用者もおられます。

今後、特養や施設での暮らしだけでなく、高齢利用者が安心して安全に地域で暮らせる老いに対応したケアホームを整備することによって、暮らし方の選択肢を増やせばと考えております。

利用される皆様・ご家族・地域の方々の声に耳を傾け、職員「同」一歩一歩地道に歩んでまいりたいと思っております。

行事あれこれ

8月
夕涼み会
矢柄公園にて

8月
若草祭
連島第2公園にて

9月
地域交流
グランドゴルフ大会

9月
一泊旅行
金毘羅宮参道にて

12月
クリスマス会

11月
グループ忘年会
～バイキング江戸～

11月
グループ行事
～イオンにて買物～

11月
グループ日帰り旅行
～おもちゃ王国～

★新しい仲間

板野 真子様 障がい者支援施設へ
(平成23年9月1日)

★退職した仲間
隠田千鶴子様 グリーンピア瀬戸内へ移行
(平成23年10月11日)

★退職した職員
山内 雅也(支援員)
(平成23年12月31日)
お疲れ様でした。

★新しい職員

三谷 亮(支援員助手)
一日も早く皆様の力になれるよう頑張ります！宜しくお願いします！
(平成23年12月1日付)

坂井美知子(支援員助手)
支援現場においてまだまだ素人ですが、今までの人生経験を生かして励んで行きたいと思っております。
(平成23年12月1日付)

北鶴 恭子(支援員助手)
思いやりとやさしさを持って、笑顔で利用者の方と接するよう頑張りたいです。
(平成23年12月1日付)

森 栄治(支援員)
兵庫県淡路島出身です。利用者の方に毎日楽しく過ごして頂けるよう頑張ります。
(平成24年1月4日付)

金谷 省吾(支援員助手)
皆様に色々聞く事があるかと思いますが、早く仕事に慣れるよう頑張ります。
(平成24年1月4日付)

★表彰者

岡山県社会福祉協議会創立60周年特別表彰
倉敷市保健福祉功労者市長表彰
倉敷市保健福祉功労者社会福祉協議会会長表彰

宮本 勇
定平 真之
石原 紀之
山田 康治

第30回瀬戸内学園学園祭開催のお知らせ

今年も桜の花が咲きほこる4月7日(土)に、学園祭を開催致します。地域の皆様との交流の場として様々な催し物を予定致しておりますので、是非瀬戸内学園前、矢柄公園に御来場下さい。詳しくは瀬戸内学園ホームページをご覧ください。お待ちしております。

アドレス：<http://www.setouchifukushi.jp/gakuen/>
 瀬戸内学園 検索 でもホームページ閲覧可能です。

編集後記

瀬戸内学園は、今年の8月で創設34年目となります。その中で、地域から通って来られ日中活動される利用者の方々へサービスを提供してきた通所部が3月より新体系移行し大きく羽ばたく年でもあります。

今年も辰年、昇り竜のごとく皆様の氣運が上昇致しますよう心からお祈り申し上げます。
(編集部一同)

～豊かな暮らしを目指して～

一泊旅行

昨年、9年ぶりに復活した一泊旅行。利用者ご家族の方々から大好評をいただき、是非また行きたいというたくさんの声にお応えして、9月8日、9日に鷺羽山、琴平方面へ行ってきました。残暑が心配されましたが、直前に大きな台風が通過した影響か、過ごしやすいうちの2日間となりました。昨年、体面から参加の難しかった方々も、今年度は近場であったため多く参加して頂けました。

一日目。早速バスに乗り込み、宿泊先の鷺羽ハイランドホテルへ向かいます。40分程度のバス旅でしたが、バスガイドさんが分かりやすく地元の紹介をしてくれたため、充実した時間となりました。ホテルに着いてからは利用者の方は温泉、希望されるご家族の方は遊覧船観光と過ごし方を選んで頂きました。お風呂は天然の吹上温泉で、大浴場を貸切にして、ゆつたりと日々の疲れを癒されました。遊覧船は瀬戸大橋の下をくぐりました。真下から見える橋は新鮮で、その大きさや長さには圧巻でした。



与島PAにて、「はい、チーズ」

宴会では、瀬戸内の海の幸に舌鼓を打ち、ホテルスタッフによる鬼面太鼓や手踊り、福引き大会と大いに盛り上がりしました。途中には、支援員によるバンド演奏まで登場し、たくさんの方々の拍手を頂きました。宴会後も利用者の方はカラオケに行かれたり、それぞれの部屋

で窓から見えるライトアップされた瀬戸大橋を見ながら、お酒とおつまみを囲みました。家族の方と職員も親睦を深めるため、懇親会を開催し、日頃関わることでできない皆様ともたくさん話をするのができました。近場でしたが、内容の濃い一日目がこうして過ぎて行きました。

二日目は、瀬戸大橋を渡り香川県は琴平に向かいます。遠くから見るのがあつても渡れることは少ない瀬戸大橋からの眺めは絶景でした。そして、こんぴらさんの門前に位置する琴参閣という旅館に到着します。旅館から参道入口までは徒歩5分。多くの方が参道を10段目まで登られ、脇にある露店で買物を楽しまれました。もちろん旅館には温泉もあり、二日続けて温泉を楽しまれる方もおられました。昼食は瀬戸内の海の幸に加え、琴平の里の幸を使った豪華なものでした。最後のうどんを食べきれないくらい料理が並びお腹も気持ちいいになりました。



琴参閣にて昼食

帰りには、瀬戸大橋の途中で与島に寄り、お土産を買ったり、記念写真を撮ったりと最後の思い出作りをしました。あつという間に過ぎてしまった二日間。利用者ご家族の方々の笑顔と楽しかったという声は何よりの思い出となりました。

新年会

今年も恒例の新年会が1月12日(木)にヘルスピア倉敷で開催されました。毎年この時期になるとインフルエンザが心配されますが、入所・通所・ケアホームの皆様は元気いっぱい新年会を迎えることができました。総勢170名もの皆様が一堂に会し、おいしい料理やゲスト楽団の演奏などに心弾ませる良き会となりました。

今年も新年会に先立ち「新成人・還暦を祝う会」が開かれ、今年は新成人1名・還暦4名の方々のお祝いを盛大に迎えることとなりました。対象者の皆様、おめでとうございます。



おめでとうございます

新成人… 兎谷 葉月様 (右端)
 還暦… 大谷伊都子様 (右から2番目)
 永幡 忠様 (中央)
 桜 秀文様 (左から2番目)
 細川 芳子様 (左端)
 お祝いの席では5名の方々の思い出写真のスライドムービーが披露されました。



バンド演奏を聴きながら豪華な料理に舌鼓

した。還暦を迎えられた4名の方々は、短い時間では紹介しきれないほどの内容の濃い人生を送ってこられたことを感じる事ができました。成人を迎えられた兎谷さんについても還暦者に劣ることのない思い出を感じる共に、これから大人へと成長し活躍するお姿に期待が高まるばかりでした。

暗いニュースが多い世の中ではありますが、新成人・還暦という節目を迎えられた5名の皆様が今後の明るい未来を象徴するかの様に輝かしく見える瞬間でした。

還暦を迎えられた永幡さんに感想をお聞きしたところ「皆に祝ってもらって嬉しかったです。これからも委託作業や食堂の掃除をがんばります。」とおっしゃっておられました。

5名の皆様、これからも元気に明るく、過ごしてください。

誕生日おめでとう！～報告外出～

年に1回必ず訪れる誕生日。その方が生まれた大切な日を思う存分楽しんで頂くために、生活介護部では「誕生日外出」というサービスに取り組んでいます。普段の外出ではなかなか行く事のできない場所へ行ったり、希望に合わせて美味しい御飯を食べたり…。利用者の方が行きたい所・やりたいことを叶えることができるようにお手伝いしています。

今回は、誕生日外出に行った利用者の方と一緒に行った職員の声聞いてみたいと思います。

利用者の方へ

Q 誕生日外出では何をしましたか？
 A 買い物で暖かい膝掛けを買った。編み物する時に使うやつ。お昼御飯は大好きなカレーを食べた。そのあと温泉に入って気持ち良かったよ。



どれにしようかな？

Q 誕生日外出は楽しかったですか？
 A 職員の人と一緒にいろんな所に行って楽しかった。一緒にゆつくり温泉に入れたのが嬉しかった。
 職員へ
 Q 誕生日外出に行っていましたか？
 A 日頃も利用者の方と一緒に外出は行っていますが、誕生日外出ではいつもと違った利用者さん

畑の恵 ～農耕班収穫祭～

8月下旬、生活介護部農耕班の収穫祭が行われました。農耕班で丹精込めて作った野菜を自分たちの力で収穫し、農耕班メンバーで協力して料理しました。今回は、日々農耕班で汗をかきながら作業に取り組んでいる利用者の方々や、それをサポートしている職員にインタビューを行いました。

利用者の方へ

Q 農耕班はどうですか？
 A 夏は暑くてしんどい。でも、美味しい野菜を作るから楽しい。
 Q また収穫祭をしたいと思いますか？
 A 皆で野菜をとって皆で食べたい。



収穫から買い出し、準備まで全て自分たちで行います。

職員へ

Q 収穫祭って何ですか？
 A 農耕班は、畑を耕すことから野菜の収穫まで毎日コツコツと作業に取り組んでいます。夏の厳しい日射しのもと、雑草を抜いたり水やりをしたり、美味しい野菜に成長するように皆で協力して育てています。そんな農耕班の日々の頑張りを全員で労りたいと感じたことから、収穫祭を開催しました。

収穫祭では、野菜の収穫をはじめ、スパーへの買い出し・具材や食器の準備等全て利用者の方々が行いました。一から全ての行程を自分たちで行う事によって、充実した収穫祭になり、また、作業に向けてより一層の励みへと繋がったようです。

Q 収穫祭を行ってみたいですか？
 A 日々行っている作業は地道で、この作業がどこに続いているのかわからない利用者の方もおられると思います。そんな方々に、自分たちの行っている作業の成果を肌で感じてもらうことができ、収穫祭を開催して良かったと思います。今後も、農耕班収穫祭を行っていく予定です。



農耕班みんなで焼肉パーティー

静養室リニューアル

昨年12月に、静養室がリニューアルされました。静養室は、主に発熱や嘔吐等の症状がみられた体調不良の方のための居室です。静かな環境でゆつくり休んで頂くことと、他利用者の方への二次感染防止を目的として使用しています。

以前までは、静養されている専用の浴室はなくトイレも簡易の物を使用して頂いていましたが、今回のリニューアルに伴い、静養室に隣接して浴室とトイレを新設いたしました。これにより、静養されている方がいつでもお風呂に入られるようになり、衛生的な状態・居室で治療に専念して頂けるよう環境を整えました。



体調不良により静養されています

また、浴室・トイレを含む居室の出入り口を感染防止用カーテンで遮断し、静養されている方と他の利用者の方とを完全に離すことが可能となりました。ノロウイルスやインフルエンザ等の飛沫感染をする感染力の強いウイルスを他の生活空間に流し出しにくいように配慮しています。



静養されている方が使用されるお風呂